

2018年7月6日

各 位

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2018年4月～6月期)」の実施について

株式会社 みなと銀行（頭取 服部博明）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（2018年4月～6月期）を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	2018年5月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,792先、うち有効回答：1,318先 (有効回答率 73.5%)
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

兵庫県内中小企業の景況調査 (2018年4月～6月期)

調査方法等
 調査時点 2018年5月
 調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
 調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
 依頼先数 1792社
 有効回答数 1318社(有効回答率73.5%)

【調査結果】

・景況判断は、中堅企業が全体をけん引、8四半期連続改善した。うち中堅製造業は過去最高の24.1となったほか、非製造業では医療・福祉・運輸業が大幅に改善した。また「悪い」と判断する企業が最小(10.5%)となったことも今回の調査の特徴として挙げられる。

・前回見通しとの比較では、非製造業においてほぼ全業種で改善したことに加え、小規模企業が初めてプラス判断となり、全産業では1.6ポイント上方判断となった。

・今回より3項目(4仕入価格、5生産、9設備投資)を調査に加えた。生産は好調である反面、仕入価格の上昇から利益水準は必ずしも高くなく、設備投資に踏み切れない様子が伺えた。

・収益環境は堅調であるが、先行きに不透明感もあり、今後の見通しはやや悪化の慎重姿勢となった。

1 景況判断

8四半期続けて改善

『全産業』は2.2ポイント良化し、8四半期連続改善。

特に中堅企業の改善幅が大きく、全体をけん引した。

調査 集計・分析 みなと銀行 ひょうご経済研究所

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	354	26.9
建設業	193	14.6
卸売業	244	18.5
小売業	78	5.9
不動産業	184	14.0
運輸業	60	4.6
宿泊・飲食業	12	0.9
医療・福祉	48	3.6
サービス業	101	7.7
その他	42	3.2
非製造業	962	73.0
無回答	2	0.2
合計	1,318	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
小規模企業	160	12.1
6～10名	190	14.4
小計	350	26.6
中小企業	218	16.5
21～50名	337	25.6
51～100名	205	15.6
小計	760	57.7
中堅企業	115	8.7
201名以上	91	6.9
小計	206	15.6
無回答	2	0.2
合計	1,318	100.0

※ DI (Diffusion Index)
 景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合
 - 「悪い」と回答した企業の割合

『製造業』は小規模企業が▲7.9と再びマイナスに転じ、中小・中堅企業と比べて景気回復を実感するには至っていない様子が伺える。

『非製造業』は薬価引き下げを追い風に医療・福祉が大幅に改善したほか、運輸業や建設業が好調な結果となった。

地域別では神戸地域が改善したのに対し、淡路地域が悪化するなど格差が広がった。

先行きは、『非製造業』が慎重な見方をしており、全体では6.2とやや悪化すると見ている。

2 売上高判断

製造業は悪化、非製造業は改善

『全産業』では16.4と0.9ポイント改善した。

『製造業』は販売数量、販売単価とも判断は悪化、『非製造業』は販売数量の判断が改善した。

業種別では建設、運輸、医療・福祉、サービス業の判断は2.0前後と好調である。

地域別では淡路地域が▲2.5と、再びマイナスに転じ、厳しい状況が続いている。

先行きは、『製造業』改善、『非製造業』が悪化と予想する。

3 経常利益判断

中堅企業は大幅に改善

『全産業』では2.6ポイント改善。『製造業』『非製造業』とも中堅企業が大幅に改善し、けん引した。業種別では運輸、医療・福祉、サービス業が大幅に改善した。

地域別では3地域改善、2地域悪化となった。特に淡路地域は3四半期悪化が続いている。

先行きは、『製造業』は改善、『非製造業』は悪化と見ており、全体ではほぼ横ばいの推移を予想。

項目	「良い」-「悪い」			「増加」-「減少」			「増加」-「減少」			「上昇」-「低下」			「増加」-「減少」		
	1. 景況判断			2. 売上高判断			(販売数量)		(販売単価)		3. 経常利益判断				
	【前回】 2018年 1～3月	【今回】 2018年 4～6月	【見通し】 2018年 7～9月	【前回】 2018年 1～3月	【今回】 2018年 4～6月	【見通し】 2018年 7～9月	【前回】 2018年 1～3月	【今回】 2018年 4～6月	【前回】 2018年 1～3月	【今回】 2018年 4～6月	【前回】 2018年 1～3月	【今回】 2018年 4～6月	【見通し】 2018年 7～9月		
全産業	5.0	7.2	6.2	15.5	16.4	17.0	12.7	14.1	7.8	6.8	9.1	11.7	11.0		
小規模企業	▲2.9	3.4	1.2	3.9	14.0	13.5	1.0	11.6	6.0	5.5	3.9	11.2	9.9		
中小企業	6.7	6.2	5.8	18.2	15.2	16.3	15.0	12.4	9.8	6.9	11.4	9.1	9.3		
中堅企業	11.1	17.6	15.9	23.7	24.8	24.9	22.4	24.5	3.6	8.0	8.6	22.0	18.9		
製造業	8.4	8.8	12.4	23.7	16.7	23.8	23.0	15.9	6.1	5.4	13.6	13.0	18.6		
小規模企業	0.0	▲7.9	▲5.4	19.0	7.9	10.5	19.0	5.3	▲4.8	2.6	10.0	10.5	10.5		
中小企業	6.5	6.4	11.5	21.1	15.7	23.8	20.2	14.5	7.7	6.0	13.8	10.2	18.4		
中堅企業	16.5	24.1	23.7	32.9	23.8	30.3	32.5	25.3	3.8	5.1	13.9	22.5	23.4		
非製造業	3.8	6.8	4.0	12.4	16.4	14.5	8.7	13.6	8.6	7.3	7.3	11.3	8.2		
小規模企業	▲3.1	4.8	1.9	2.8	14.8	13.9	▲0.4	12.4	6.8	5.9	3.5	11.3	9.8		
中小企業	6.9	6.1	3.3	16.8	15.0	13.0	12.3	11.5	10.8	7.3	10.1	8.6	5.2		
中堅企業	7.6	13.5	11.2	17.6	25.4	21.6	15.5	24.0	3.5	9.9	5.0	21.6	16.1		

4 仕入価格判断 4社に1社が上昇

『全産業』の判断は23・6で、「上昇」は25・7%と4社に1社にのぼる。

特に小規模製造業は28・9と3社に1社が上昇と回答しており、規模の小さい企業ほど仕入価格が上昇している傾向が伺える。

業況判断が厳しい企業ほど仕入価格上昇分の価格転嫁が遅れている。

5 生産判断（製造業のみ） 中堅製造業が好調

全体判断は18・3で、「増加」は3社に1社。

規模別では小規模企業の2・8に対して、中堅企業は28・2と好調である。地域別では神戸地域が32・9と好調であり、他地域との格差が大きい。

6 在庫判断 過剰感が少し強まる

9割超の企業は「適正」と判断している。

『全産業』では過剰感が0・1ポイント強まり▲0・5となった。卸売・小売業で過剰感のある状況が続いている。

7 資金繰り判断 小規模製造業が苦しい

9割超の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している。

『全産業』では1・9ポイント改善した。『製造業』はほぼ横ばい、『非製造業』も全規模で良好したが、宿泊・飲食業が大きく悪化するなど業種により偏りが見られる。

項目	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]
	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月
全産業	—	23.6	22.3	—	—	—	▲0.4	▲0.5	0.7	6.3	8.2	5.9	24.5	24.2	24.8	—	4.2	5.4
小規模企業	—	25.9	23.0	—	—	—	2.3	2.9	2.6	1.6	2.0	0.6	7.4	17.8	17.0	—	0.0	0.6
中小企業	—	23.5	22.6	—	—	—	▲1.2	▲2.1	▲0.1	6.3	8.3	6.0	27.1	25.0	26.2	—	4.8	6.0
中堅企業	—	20.3	19.7	—	—	—	▲1.6	▲0.5	0.5	13.6	18.0	14.4	41.2	31.6	32.7	—	8.8	10.9
製造業	—	25.2	23.2	—	18.3	21.6	▲4.0	▲1.1	0.9	8.9	8.8	6.0	28.4	25.1	24.9	—	10.2	9.4
小規模企業	—	28.9	21.1	—	2.8	5.6	▲4.8	5.3	2.6	▲10.0	▲2.6	▲7.9	14.3	31.6	34.2	—	▲2.6	▲7.9
中小企業	—	26.8	25.2	—	17.4	21.5	▲2.8	▲1.7	1.7	6.9	5.9	3.8	25.9	22.5	21.7	—	12.3	13.2
中堅企業	—	18.8	18.2	—	28.2	29.3	▲7.5	▲2.5	▲2.6	20.0	22.5	19.5	40.0	30.0	29.9	—	10.0	6.4
非製造業	—	23.1	22.0	—	—	—	1.0	▲0.2	0.7	5.3	7.9	5.9	23.0	23.9	24.8	—	1.9	3.9
小規模企業	—	25.5	23.3	—	—	—	2.8	2.5	2.5	2.4	2.6	1.6	6.9	16.1	14.9	—	0.3	1.7
中小企業	—	22.0	21.4	—	—	—	▲0.4	▲2.3	▲1.0	6.1	9.4	6.9	27.7	26.2	28.3	—	1.4	2.7
中堅企業	—	21.3	20.7	—	—	—	2.7	0.9	2.7	9.2	15.1	11.3	42.0	32.5	34.4	—	8.0	13.8

8 雇用判断 不足感は高止まり

『全産業』では24・2と高止まっている。『製造業』では不足感がやや弱まったが、特に『非製造業』の建設、運輸、医療・福祉で不足感が強い。

9 設備投資判断 中小・中堅製造業で増加

中小・中堅製造業で増加しており、『全産業』の判断は4・2であった。

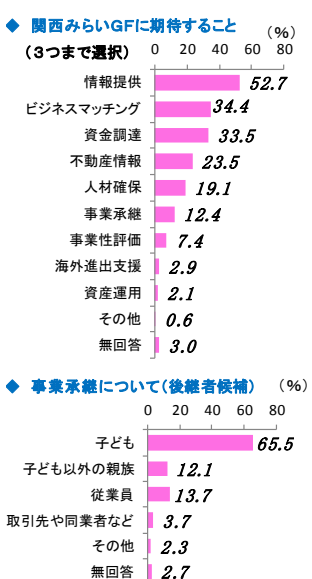
業種別では運輸業が積極的で、トラック更新、船舶修理・建造などの動きがある。

◆ 関西みらいFGに期待すること

地域・景気動向・助成金制度などの「情報提供」が52・7%と最多。以下、「ビジネスマッチング」34・4%、「資金調達」33・5%、「不動産情報」23・5%の順となり、ビジネスパートナーとしての期待感が伺える結果となった。

◆ 事業承継について

事業承継を考えている企業は33・2%で、1年前の調査（42・3%）より9・1ポイント低下した。後継者候補のトップは「子ども」（65・5%）で、前回調査（66・4%）とほぼ同じ結果。



兵庫県内中小企業の景況調査

(2018年4月～6月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ 関西みらいフィナンシャルグループに期待すること	13
◆ 事業承継について	14
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	17

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 企画部広報室(担当:藤井)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3247

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2018年5月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,792社
- ◆有効回答数 1,318社(有効回答率73.5%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	400	30.3
阪神地域	350	26.6
播磨地域	437	33.2
但馬・丹波地域	50	3.8
淡路地域	81	6.1
無回答	0	0.0
合計	1,318	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	354	26.9	
非製造業	建設業	193	14.6
	卸売業	244	18.5
	小売業	78	5.9
	不動産業	184	14.0
	運輸業	60	4.6
	宿泊・飲食業	12	0.9
	医療・福祉	48	3.6
	サービス業	101	7.7
その他	42	3.2	
非製造業	962	73.0	
無回答	2	0.2	
合計	1,318	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	83	6.3
500万円超～1千万円以下	381	28.9
1千万円超～2千万円以下	244	18.5
2千万円超～3千万円以下	147	11.2
3千万円超～5千万円以下	228	17.3
5千万円超～1億円以下	183	13.9
1億円超	50	3.8
無回答	2	0.2
合計	1,318	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	160	12.1
	6～10名	190	14.4
	小計	350	26.6
中小企業	11～20名	218	16.5
	21～50名	337	25.6
	51～100名	205	15.6
	小計	760	57.7
中堅企業	101～200名	115	8.7
	201名以上	91	6.9
	小計	206	15.6
	無回答	2	0.2
合計	1,318	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- ・景況判断は、中堅企業が全体をけん引、8 四半期連続改善した。うち中堅製造業は過去最高の 24.1 となったほか、非製造業では医療・福祉、運輸業が大幅に改善した。また「悪い」と判断する企業が最小（10.5%）となったことも今回の調査の特徴として挙げられる。
- ・前回見通しとの比較では、非製造業においてほぼ全業種で改善したことに加え、小規模企業が初めてプラス判断となり、全産業では 1.6 ポイント上方判断となった。
- ・今回より 3 項目（仕入価格、生産、設備投資）を調査に加えた。生産は好調である反面、仕入価格の上昇から利益水準は必ずしも高くなく、設備投資に踏み切れない様子が伺えた。
- ・収益環境は堅調であるが、先行きに不透明感もあり、今後の見通しはやや悪化の慎重姿勢となった。

景況判断 DI は 2.2 ポイント改善の 7.2
先行きは 1.0 ポイント悪化の 6.2

項目	最近3ヵ月 〔2018年4月～6月〕	今後3ヵ月 〔2018年7月～9月〕
景況判断 「良い」－「悪い」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 7.2 と 8 期続けて改善。 ・製造業、非製造業とも改善。 ・中堅企業が改善し、全体をけん引。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 1.0 ポイントの悪化予想。 ・製造業は改善、非製造業は悪化を見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」－「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.9 ポイント改善の 16.4。 ・製造業は販売数量、販売単価とも悪化、非製造業は販売数量のみ改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.6 ポイントの改善予想。 ・製造業は改善、非製造業は悪化を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」－「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 2.6 ポイント改善の 11.7。 ・製造業は悪化したが、非製造業は中堅企業が大幅に良化して改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.7 ポイントの悪化予想。 ・製造業は改善を見込む一方で、非製造業は悪化すると予想。
仕入価格判断 「上昇」－「低下」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 23.6 (「上昇」は 25.7%)。 ・小規模製造業は 28.9 と、中堅企業製造業より約 10 ポイント高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 1.3 ポイントの低下を見込む。 ・製造業、非製造業とも低下すると予想。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」－「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業全体では 18.3 (「増加」は 27.2%)。 ・小規模企業の 2.8 に対して、中堅企業は 28.2 と好調である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業全体では 3.3 ポイントの増加予想。 ・小規模、中小、中堅企業のいずれも増加を見込む。
在庫判断 「不足」－「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では過剰感が少し強まり▲0.5。 ・「適正」とする企業が 9 割超と大半。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.7 と不足に転じると予想。 ・今後とも「適正」とする企業が多い。
資金繰り判断 「楽である」 －「苦しい」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 1.9 ポイント改善の 8.2。 ・「楽」もしくは「普通」が大半 (94.2%) を占め、「苦しい」はわずかである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 2.3 ポイントの悪化予想。 ・製造業、非製造業とも悪化すると予想。
雇用判断 「不足」－「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 24.2 と不足感が強い。 ・建設、運輸、医療・福祉で不足感が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業の不足感は少し強まると予想。 ・製造業は不足感が弱まり、非製造業は強まると予想。
設備投資判断 「増加」－「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・中小・中堅製造業で増加しており、全産業では 4.2。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 1.2 ポイントの増加予想。 ・製造業は減少、非製造業は増加を見込む。
関西みらいFGに期待すること (3つまで選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・景気動向・助成金制度などの「情報提供」が 52.7% と最多で、以下、「ビジネスマッチング」34.4%、「資金調達」33.5%、「不動産情報」23.5% の順であった。 	
事業承継について	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を考えている企業は 33.2% で、1 年前の調査 (42.3%) より 9.1 ポイント減少した。後継者候補のトップは「子ども」(65.5%) で、前回調査 (66.4%) とほぼ同じであった。 	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、2.2ポイント改善の7.2と、8四半期続けて改善した。「悪い」企業が2010年の調査開始後、最小(10.5%)となった。

業種別・・・『製造業』は小規模企業が▲7.9と再びマイナスに転じ、中小・中堅企業と比べて回復が遅れている。

『非製造業』は6.8と3.0ポイント改善した。

規模別・・・『中小企業』(従業員数11～100名)は0.5ポイント悪化したものの、『小規模企業』(同10名以下)が6.3ポイント、『中堅企業』(同101名以上)は6.5ポイントといずれも改善し、全体を押し上げた。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』が4.0ポイント改善の12.1に対し、『淡路地域』は5.0ポイント悪化の▲6.2となるなど格差が広がった。

業種別・・・薬価引き下げを追い風に『医療・福祉』が大幅に改善したほか、『運輸業』や『建設業』が好調である。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、1.0ポイント悪化の6.2を予想する。

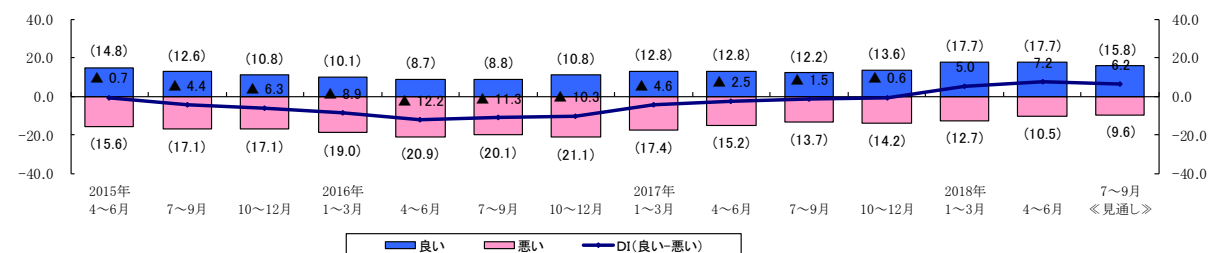
業種別・・・『製造業』は3.6ポイント改善、『非製造業』は2.8ポイント悪化を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は2.2ポイント、『中小企業』は0.4ポイント、『中堅企業』は1.7ポイントといずれも悪化を予想する。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	▲1.5	▲0.6	5.0	7.2	6.2
小規模企業	▲8.6	▲8.5	▲2.9	3.4	1.2
中小企業	▲0.6	▲1.0	6.7	6.2	5.8
中堅企業	7.2	13.0	11.1	17.6	15.9
製造業	▲1.1	4.0	8.4	8.8	12.4
小規模企業	▲20.7	▲18.5	0.0	▲7.9	▲5.4
中小企業	▲1.2	2.1	6.5	6.4	11.5
中堅企業	7.2	18.4	16.5	24.1	23.7
非製造業	▲1.5	▲2.3	3.8	6.8	4.0
小規模企業	▲7.5	▲7.6	▲3.1	4.8	1.9
中小企業	▲0.4	▲2.2	6.9	6.1	3.3
中堅企業	7.1	9.7	7.6	13.5	11.2

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	0.0	▲4.1	8.1	12.1	9.2
	阪神地域	1.8	5.0	4.7	7.4	6.6
	播磨地域	▲0.9	1.4	3.8	5.5	6.3
	但馬・丹波地域	▲20.8	▲6.3	4.9	4.0	▲2.0
	淡路地域	▲13.6	▲12.5	▲1.2	▲6.2	▲4.9
	製造業	▲1.1	4.0	8.4	8.8	12.4
業種別	建設業	9.5	9.2	20.6	19.7	15.0
	卸売業	▲4.7	▲9.2	0.0	3.3	▲2.5
	小売業	▲10.1	▲21.8	▲12.0	▲10.4	▲7.9
	不動産業	▲2.2	▲3.6	1.8	4.3	2.2
	運輸業	0.0	7.5	4.8	13.3	8.6
	宿泊・飲食業	▲53.8	▲20.0	▲7.1	▲16.7	▲8.3
	医療・福祉	5.3	6.5	2.7	12.5	8.3
	サービス業	▲9.7	1.0	2.0	7.9	8.9
その他	8.9	2.0	0.0	▲2.4	0.0	

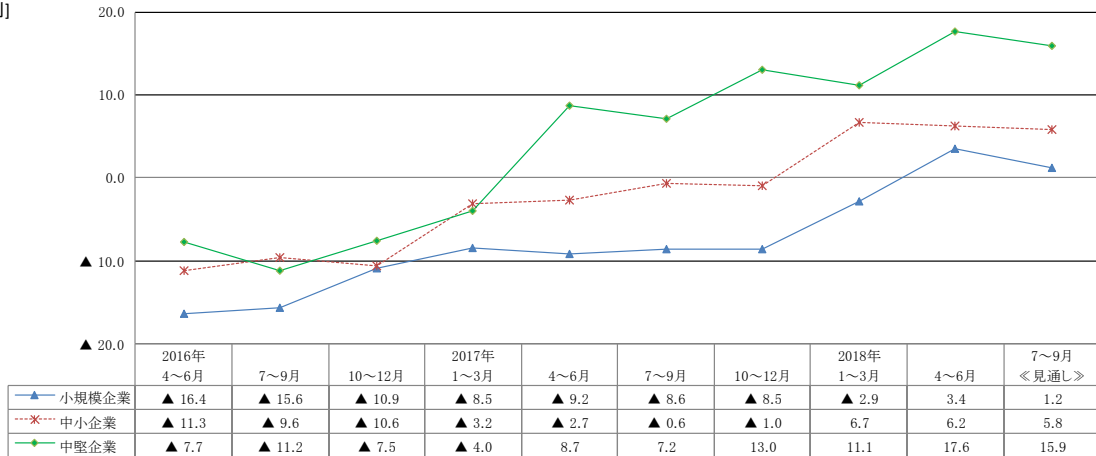
景況判断の推移【全産業】



※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

景況判断の推移明細

[規模別]

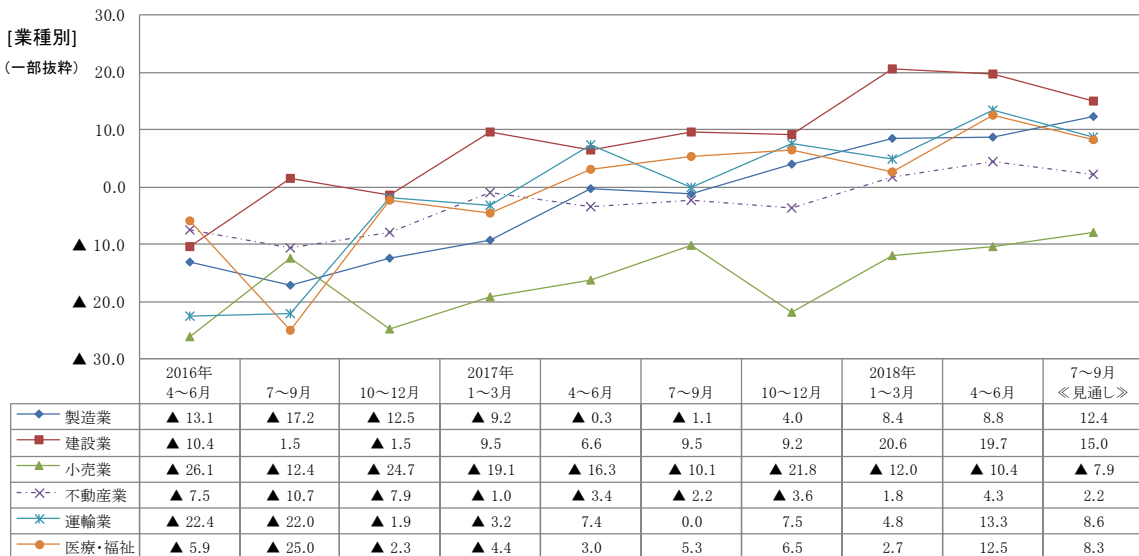


[地域別]



[業種別]

(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月~6月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、販売単価は低下したが、販売数量が増え、全体では16.4と0.9ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は、販売数量、販売単価とも悪化し、7.0ポイント悪化した。

『非製造業』は販売単価が低下したが、販売数量が増え、4.0ポイント改善した

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が▲2.5と再びマイナスに転じ、厳しい状況が続いている。

業種別・・・『建設業』、『運輸業』、『医療・福祉』、『サービス業』の判断は20.0前後と好調である。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月~9月]

全産業・・・先行きは、販売数量、販売単価とも改善し、0.6ポイントの改善を予想している。

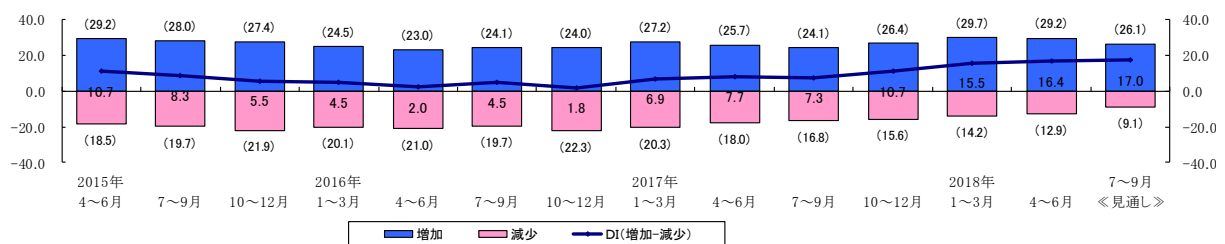
業種別・・・『製造業』は7.1ポイント改善の23.8、『非製造業』は1.9ポイント悪化の14.5を見込む。

項目	「増加」-「減少」、「上昇」-「低下」				
	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月 《見通し》
全産業	7.3	10.7	15.5	16.4	17.0
販売数量	6.6	10.0	12.7	14.1	15.0
小規模企業	▲0.9	3.1	1.0	11.6	12.3
中小企業	7.5	8.6	15.0	12.4	13.6
中堅企業	15.8	24.9	22.4	24.5	24.5
販売単価	1.2	5.3	7.8	6.8	8.3
小規模企業	▲4.0	3.1	6.0	5.5	6.5
中小企業	3.0	4.3	9.8	6.9	8.7
中堅企業	2.5	12.4	3.6	8.0	9.3
製造業	7.6	14.8	23.7	16.7	23.8
販売数量	7.9	16.2	23.0	15.9	22.2
販売単価	1.4	2.3	6.1	5.4	7.8
非製造業	7.3	9.2	12.4	16.4	14.5
販売数量	6.2	7.5	8.7	13.6	12.3
販売単価	1.1	6.5	8.6	7.3	8.5

項目	「増加」-「減少」、「上昇」-「低下」					
	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.5	13.2	22.9	21.6	18.3
	阪神地域	8.4	10.6	9.1	17.4	16.9
	播磨地域	10.0	12.9	17.5	14.5	18.7
	但馬・丹波地域	▲5.7	▲10.6	0.0	14.0	10.0
	淡路地域	1.2	▲1.4	3.7	▲2.5	6.2
業種別	製造業	7.6	14.8	23.7	16.7	23.8
	建設業	15.2	15.8	22.4	26.4	22.3
	卸売業	5.9	6.6	11.0	14.0	12.9
	小売業	▲5.1	▲6.6	4.0	2.7	6.7
	不動産業	3.9	2.5	7.9	14.7	10.3
	運輸業	15.6	20.8	19.4	20.0	12.1
	宿泊・飲食業	▲23.1	▲10.0	0.0	▲33.3	▲8.3
	医療・福祉	24.3	12.9	5.4	20.8	22.9
	サービス業	8.1	16.5	13.3	19.8	20.8
	その他	▲1.8	16.0	10.9	11.9	5.0

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、11.7と2.6ポイント改善した。
 業種別・・・『製造業』、『非製造業』とも中堅企業が大幅に改善した(順に8.6ポイント、16.6ポイント)。
 規模別・・・『小規模企業』が7.3ポイント改善、『中堅企業』は13.4ポイント改善したが、『中小企業』は2.3ポイント悪化した。

【参考】

地域別・・・3地域改善、2地域悪化となった。特に『淡路地域』は、3四半期悪化が続いている。
 業種別・・・『運輸業』(13.8ポイント)、『医療・福祉』(16.9ポイント)、『サービス業』(9.7ポイント)が大幅に改善した。

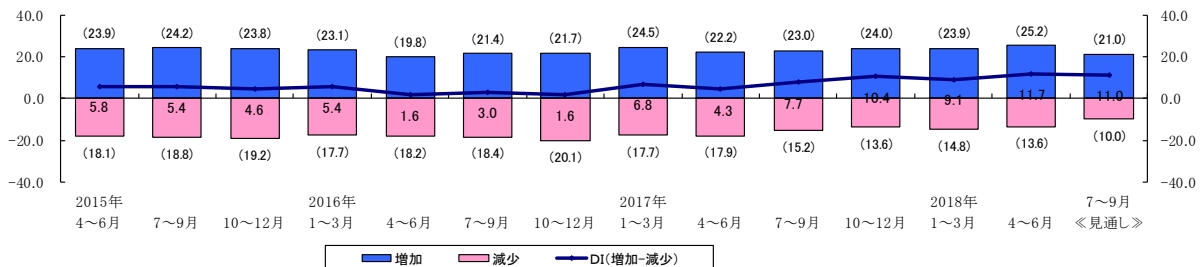
(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、0.7ポイント悪化の11.0を見込む。
 業種別・・・『製造業』が5.6ポイント改善の18.6、『非製造業』は3.1ポイント悪化の8.2を予想している。
 規模別・・・『小規模企業』は1.3ポイント悪化、『中堅企業』は3.1ポイント悪化を見込むが、『中小企業』は0.2ポイント改善すると見ている。

項目	「増加」-「減少」				
	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	7.7	10.4	9.1	11.7	11.0
小規模企業	▲1.2	3.2	3.9	11.2	9.9
中小企業	9.1	11.8	11.4	9.1	9.3
中堅企業	17.6	16.5	8.6	22.0	18.9
製造業	10.4	12.5	13.6	13.0	18.6
小規模企業	3.4	0.0	10.0	10.5	10.5
中小企業	8.1	12.9	13.8	10.2	18.4
中堅企業	21.7	15.8	13.9	22.5	23.4
非製造業	6.9	9.7	7.3	11.3	8.2
小規模企業	▲1.6	3.5	3.5	11.3	9.8
中小企業	9.5	11.5	10.1	8.6	5.2
中堅企業	15.6	16.9	5.0	21.6	16.1

項目	「増加」-「減少」					
	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	10.2	12.1	13.5	15.1	11.9
	阪神地域	6.5	8.7	7.5	14.1	10.7
	播磨地域	6.5	12.8	8.5	11.7	13.5
	但馬・丹波地域	1.9	▲8.5	17.5	2.0	4.0
	淡路地域	9.9	6.9	▲7.4	▲9.9	▲1.2
	製造業	10.4	12.5	13.6	13.0	18.6
業種別 非製造業	建設業	10.1	15.2	18.3	21.8	15.0
	卸売業	5.9	6.1	8.5	6.2	3.3
	小売業	0.0	▲3.9	▲8.0	▲5.2	▲1.3
	不動産業	5.6	4.8	5.5	13.1	9.3
	運輸業	11.1	15.1	0.0	13.8	3.5
	宿泊・飲食業	▲38.5	▲10.0	▲7.1	▲33.3	▲8.3
	医療・福祉	7.9	22.6	8.1	25.0	22.9
	サービス業	13.5	19.4	5.2	14.9	14.9
	その他	5.4	14.0	10.9	0.0	▲5.0

経常利益判断の推移【全産業】



4. 仕入価格判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は23.6で、「上昇」は4社に1社にのぼる(「上昇」25.7%、「変わらず」72.2%、「低下」2.1%)。

業況判断が厳しい企業ほど仕入価格上昇分の価格転嫁が遅れている。

業種別・・・『製造業』は25.2、『非製造業』は23.1であった。

規模別・・・小規模製造業は28.9と3社に1社が上昇と回答しており(「上昇」31.6%、「変わらず」65.8%、「低下」2.6%)、規模の小さい企業ほど仕入価格が上昇している。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が31.6、『但馬・丹波地域』が30.0であり、他地域と比べて上昇した企業が多い。

業種別・・・『建設業』が30.3、『運輸業』が29.1であり、他業種と比べて上昇した企業が多い。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、1.3ポイント低下の22.3を予想しており、引き続き上昇を見込む企業が多い。

業種別・・・『製造業』は2.0ポイント低下、『非製造業』は1.1ポイント低下といずれも低下を見込む。

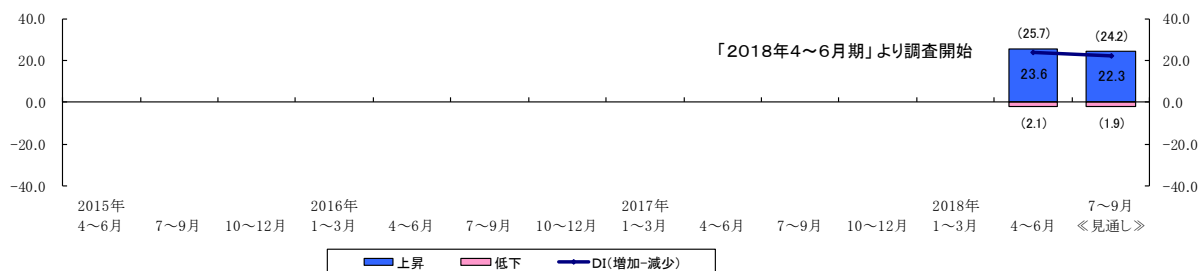
規模別・・・『小規模企業』は2.9ポイント、『中小企業』は0.9ポイント、『中堅企業』は0.6ポイントといずれも低下を予想する。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	—	—	—	23.6	22.3
小規模企業	—	—	—	25.9	23.0
中小企業	—	—	—	23.5	22.6
中堅企業	—	—	—	20.3	19.7
製造業	—	—	—	25.2	23.2
小規模企業	—	—	—	28.9	21.1
中小企業	—	—	—	26.8	25.2
中堅企業	—	—	—	18.8	18.2
非製造業	—	—	—	23.1	22.0
小規模企業	—	—	—	25.5	23.3
中小企業	—	—	—	22.0	21.4
中堅企業	—	—	—	21.3	20.7

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	—	—	—	23.5	22.8
	阪神地域	—	—	—	23.3	23.3
	播磨地域	—	—	—	21.6	18.1
	但馬・丹波地域	—	—	—	30.0	38.0
	淡路地域	—	—	—	31.6	27.8
業種別	製造業	—	—	—	25.2	23.2
	建設業	—	—	—	30.3	28.7
	卸売業	—	—	—	26.4	25.8
	小売業	—	—	—	20.8	16.9
	不動産業	—	—	—	20.8	19.6
	運輸業	—	—	—	29.1	24.5
	宿泊・飲食業	—	—	—	8.3	16.7
	医療・福祉	—	—	—	6.8	6.8
	サービス業	—	—	—	15.8	15.8
	その他	—	—	—	15.0	15.8

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

仕入価格判断の推移【全産業】



5. 生産判断（製造業のみ）

(1) 最近3ヵ月〔2018年4月～6月〕

全体……最近3ヵ月の生産判断DI(「増加」-「減少」)は18.3で、「増加」は3社に1社(「増加」27.2%、「変わらず」63.9%、「減少」8.9%)。

規模別……『小規模企業』が2.8に対し、『中堅企業』は28.2と好調である。

【参考】

地域別……『神戸地域』が32.9と好調であり、他地域との格差が大きい。

(2) 今後3ヵ月〔2018年7月～9月〕

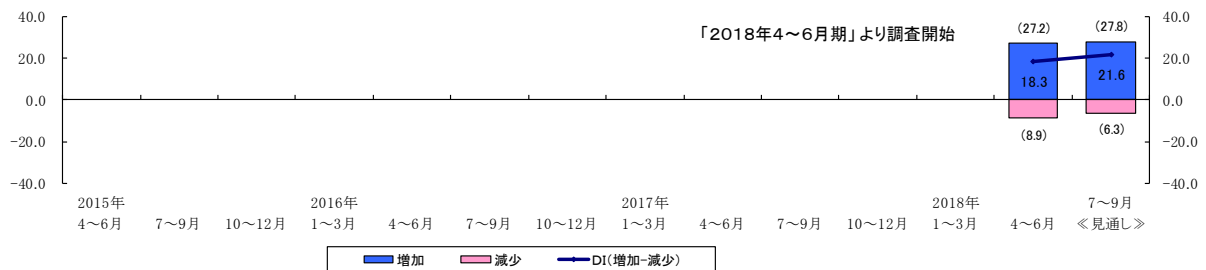
全体……先行きは、3.3ポイント上昇の21.6と、増加を見込む

規模別……全規模で増加を予想するが、『中堅企業』は29.3と引き続き好調である。

項目	「増加」-「減少」				
	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
製造業	—	—	—	18.3	21.6
小規模企業	—	—	—	2.8	5.6
中小企業	—	—	—	17.4	21.5
中堅企業	—	—	—	28.2	29.3

項目	「増加」-「減少」					
	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	—	—	—	32.9	22.7
	阪神地域	—	—	—	13.0	16.9
	播磨地域	—	—	—	15.4	21.1
	但馬・丹波地域	—	—	—	19.0	36.4
	淡路地域	—	—	—	0.0	9.5

生産判断の推移【製造業】



6. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・9割を超える企業が「適正」と判断している(「不足」3.4%、「適正」92.7%、「過剰」3.9%)。
最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、過剰感が0.1ポイント強まり▲0.5となった。

業種別・・・『製造業』は▲1.1、『非製造業』は▲0.2となり、いずれも過剰と判断している。

規模別・・・『小規模企業』が2.9で不足、『中小企業』が▲2.1で過剰、『中堅企業』は▲0.5で過剰と判断している。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』の過剰在庫が一気に解消し、6.5と不足に転じた。

業種別・・・『小売業』が▲6.5、『卸売業』が▲5.4と過剰感がある状態が続いている。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、0.7となり、不足に転じると予想している。

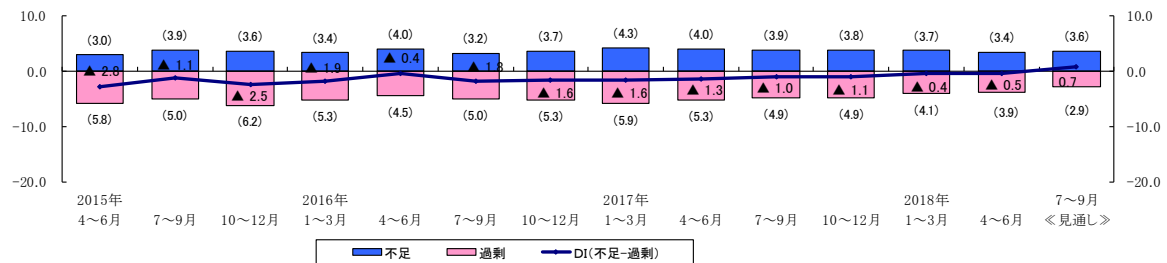
業種別・・・『製造業』は0.9、『非製造業』は0.7と、いずれも不足に転じると見ている。

規模別・・・『小規模企業』は不足、『中小企業』は過剰、『中堅企業』は不足と予想している。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	▲1.0	▲1.1	▲0.4	▲0.5	0.7
小規模企業	0.6	3.3	2.3	2.9	2.6
中小企業	▲2.5	▲3.2	▲1.2	▲2.1	▲0.1
中堅企業	2.0	0.0	▲1.6	▲0.5	0.5
製造業	▲4.5	▲3.7	▲4.0	▲1.1	0.9
小規模企業	▲10.3	0.0	▲4.8	5.3	2.6
中小企業	▲3.9	▲4.1	▲2.8	▲1.7	1.7
中堅企業	▲4.4	▲3.9	▲7.5	▲2.5	▲2.6
非製造業	0.3	0.0	1.0	▲0.2	0.7
小規模企業	1.7	3.7	2.8	2.5	2.5
中小企業	▲1.8	▲2.7	▲0.4	▲2.3	▲1.0
中堅企業	5.4	2.6	2.7	0.9	2.7

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲1.0	▲2.8	▲1.4	▲1.9	▲1.1
	阪神地域	1.5	4.9	2.2	3.2	4.1
	播磨地域	▲1.9	▲2.9	▲0.7	▲3.1	▲1.7
	但馬・丹波地域	▲8.2	▲12.5	▲15.0	6.5	13.0
	淡路地域	▲2.6	2.8	2.6	1.3	1.3
業種別	製造業	▲4.5	▲3.7	▲4.0	▲1.1	0.9
	建設業	4.3	3.4	3.6	0.0	1.7
	卸売業	▲8.1	▲7.5	▲0.9	▲5.4	▲3.8
	小売業	▲2.5	▲6.4	▲9.3	▲6.5	▲2.6
不動産業	5.2	9.0	6.3	9.3	8.6	

在庫判断の推移【全産業】



7. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・全体では9割超(94.2%)が「楽である」もしくは「普通」と判断している(「楽である」13.9%、「普通」80.3%、「苦しい」5.8%)。

最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、8.2と1.9ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は8.8とほぼ横ばい、『非製造業』は2.6ポイント改善の7.9となった。

規模別・・・『小規模企業』が0.4ポイント、『中小企業』が2.0ポイント、『中堅企業』が4.4ポイントといずれも改善した。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は5.3ポイント改善して▲2.0となったが、同地域のみマイナス判断が続いており、他の地域と比べて資金繰りが厳しい企業が多い。

業種別・・・『宿泊・飲食業』が大きく悪化するなど、業種により偏りが見られる。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、2.3ポイント悪化の5.9となる見通し。

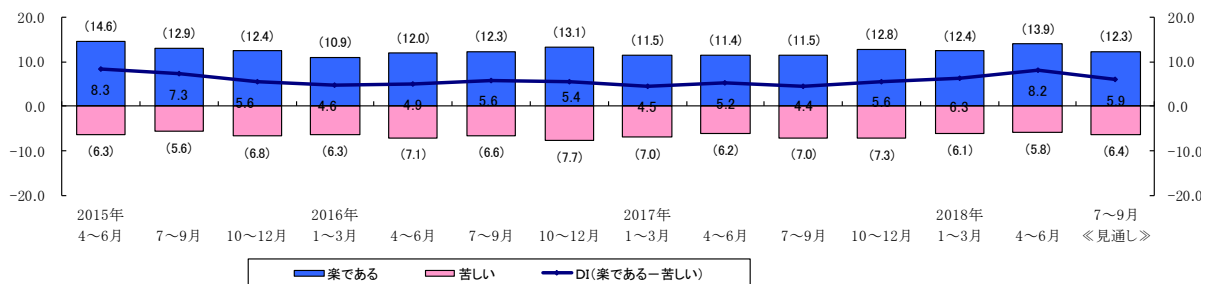
業種別・・・『製造業』は2.8ポイント悪化の6.0、『非製造業』は2.0ポイント悪化の5.9と、いずれも悪化を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも悪化すると予想している。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	4.4	5.6	6.3	8.2	5.9
小規模企業	▲1.5	1.6	1.6	2.0	0.6
中小企業	4.8	3.9	6.3	8.3	6.0
中堅企業	12.4	18.0	13.6	18.0	14.4
製造業	7.3	8.4	8.9	8.8	6.0
小規模企業	3.4	▲3.7	▲10.0	▲2.6	▲7.9
中小企業	4.3	5.7	6.9	5.9	3.8
中堅企業	20.3	21.1	20.0	22.5	19.5
非製造業	3.4	4.6	5.3	7.9	5.9
小規模企業	▲1.9	2.1	2.4	2.6	1.6
中小企業	5.1	3.3	6.1	9.4	6.9
中堅企業	8.5	16.1	9.2	15.1	11.3

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	5.3	8.0	8.6	12.0	9.9
	阪神地域	9.2	5.3	4.7	3.7	3.2
	播磨地域	2.8	5.7	7.3	9.6	7.0
	但馬・丹波地域	▲17.0	▲12.5	▲7.3	▲2.0	▲6.0
	淡路地域	2.5	2.8	3.7	6.3	0.0
業種別	製造業	7.3	8.4	8.9	8.8	6.0
	建設業	5.6	13.0	11.8	17.6	16.1
	卸売業	0.4	2.2	4.2	7.8	4.2
	小売業	▲1.3	▲16.7	2.7	▲2.6	▲3.9
	不動産業	3.9	6.0	6.7	6.1	4.4
	運輸業	1.5	9.4	3.3	6.7	0.0
	宿泊・飲食業	7.7	0.0	7.1	▲27.3	▲16.7
	医療・福祉	2.6	▲9.7	0.0	▲2.1	▲6.3
	サービス業	7.1	9.7	1.0	4.0	6.0
	その他	7.1	8.0	2.2	23.8	22.5

資金繰り判断の推移【全産業】



8. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、0.3ポイント低下の24.2と不足感の強い状態が続いている。

業種別・・・『製造業』の不足感は3.3ポイント弱まり、『非製造業』は0.9ポイント強まった。

規模別・・・『中小企業』と『中堅企業』の不足感は弱まったが、『小規模企業』は17.8となり10.4ポイント強まった。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』が46.0と過去最高を更新し、他地域と比べて不足感が強い。

業種別・・・特に、『建設業』、『運輸業』、『医療・福祉』で不足感が強い。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、24.8と不足感が0.6ポイント強まると予想している。

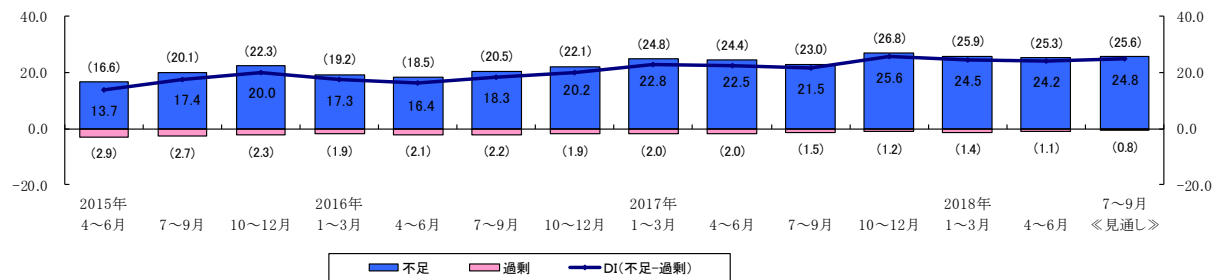
業種別・・・『製造業』の不足感は0.2ポイント低下の24.9、『非製造業』は0.9ポイント上昇の24.8を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は不足感の低下、『中小企業』と『中堅企業』は上昇を見込む。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	21.5	25.6	24.5	24.2	24.8
小規模企業	11.9	13.7	7.4	17.8	17.0
中小企業	22.3	28.7	27.1	25.0	26.2
中堅企業	34.0	33.5	41.2	31.6	32.7
製造業	20.6	28.6	28.4	25.1	24.9
小規模企業	13.8	29.6	14.3	31.6	34.2
中小企業	18.6	27.2	25.9	22.5	21.7
中堅企業	30.9	32.9	40.0	30.0	29.9
非製造業	21.8	24.5	23.0	23.9	24.8
小規模企業	11.7	12.2	6.9	16.1	14.9
中小企業	24.1	29.5	27.7	26.2	28.3
中堅企業	35.5	33.9	42.0	32.5	34.4

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	23.7	25.3	23.4	23.3	24.8
	阪神地域	13.9	20.3	13.2	23.1	22.9
	播磨地域	23.1	28.2	32.3	22.7	23.4
	但馬・丹波地域	24.5	29.2	31.7	46.0	44.0
	淡路地域	30.0	31.9	29.6	27.5	28.4
業種別	製造業	20.6	28.6	28.4	25.1	24.9
	建設業	34.3	46.7	38.5	40.4	42.0
	卸売業	16.1	16.6	13.6	15.6	16.1
	小売業	20.3	23.1	14.7	19.5	20.8
	不動産業	3.9	3.6	4.9	7.1	7.1
	運輸業	35.4	34.0	40.3	45.0	46.6
	宿泊・飲食業	53.8	30.0	64.3	18.2	16.7
	医療・福祉	21.1	22.6	24.3	41.7	41.7
	サービス業	26.8	35.0	38.8	25.7	28.7
	その他	28.6	20.0	21.7	23.8	25.0

雇用判断の推移【全産業】



9. 設備投資判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、4.2であった。

業種別・・・『製造業』が10.2、『非製造業』が1.9であり、『製造業』の方が積極的である。

規模別・・・『小規模企業』が0.0、『中小企業』が4.8、『中堅企業』が8.8となっており、規模が大きい企業で設備投資を増やす企業が多い。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』が10.0、『淡路地域』が9.0であり、他地域と比べて設備投資を増やす企業が多い。

業種別・・・『運輸業』が20.3と積極的で、トラック更新、船舶修理・建造などの動きがある。

(2) 今後3ヵ月 [2018年7月～9月]

全産業・・・先行きは、1.2ポイント増加の5.4を見込む。

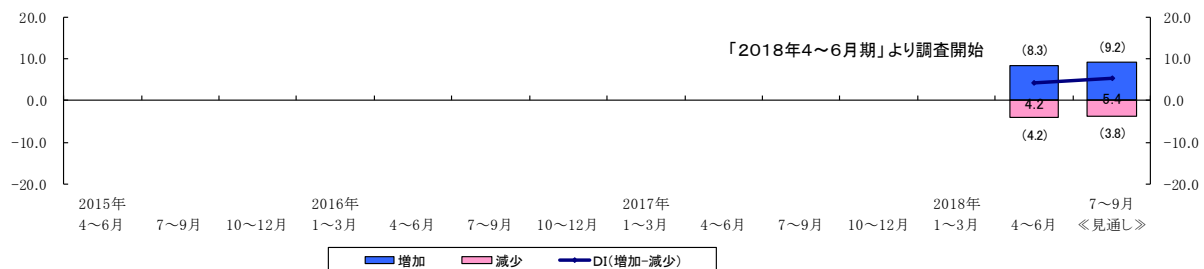
業種別・・・『製造業』は0.8ポイント減少、『非製造業』は2.0ポイント増加を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は0.6ポイント、『中小企業』は1.2ポイント、『中堅企業』は2.1ポイントと、いずれも増加を予想している。

項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》
全産業	—	—	—	4.2	5.4
小規模企業	—	—	—	0.0	0.6
中小企業	—	—	—	4.8	6.0
中堅企業	—	—	—	8.8	10.9
製造業	—	—	—	10.2	9.4
小規模企業	—	—	—	▲2.6	▲7.9
中小企業	—	—	—	12.3	13.2
中堅企業	—	—	—	10.0	6.4
非製造業	—	—	—	1.9	3.9
小規模企業	—	—	—	0.3	1.7
中小企業	—	—	—	1.4	2.7
中堅企業	—	—	—	8.0	13.8

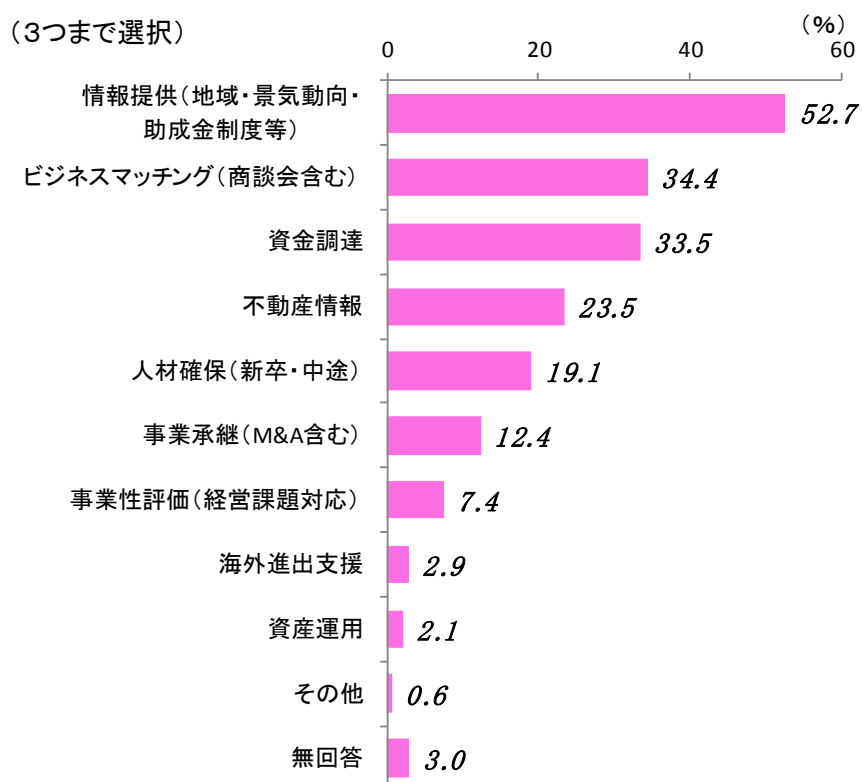
項目	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	—	—	—	2.8	2.8
	阪神地域	—	—	—	2.9	3.8
	播磨地域	—	—	—	4.8	7.0
	但馬・丹波地域	—	—	—	10.0	18.0
	淡路地域	—	—	—	9.0	7.6
業種別	製造業	—	—	—	10.2	9.4
	建設業	—	—	—	▲1.6	0.0
	卸売業	—	—	—	▲1.7	0.4
	小売業	—	—	—	5.3	2.7
	不動産業	—	—	—	1.1	3.4
	運輸業	—	—	—	20.3	15.8
	宿泊・飲食業	—	—	—	0.0	8.3
	医療・福祉	—	—	—	2.1	12.5
	サービス業	—	—	—	2.0	7.0
	その他	—	—	—	9.8	10.3

設備投資判断の推移【全産業】



◆ 関西みらいフィナンシャルグループに期待すること

- ・関西みらいフィナンシャルグループに期待することについて、優先順位が高い項目を3つまで選択してもらったところ、「情報提供（地域・景気動向・助成金制度等）」が52.7%と最多で、以下、「ビジネスマッチング（商談会含む）」34.4%、「資金調達」33.5%、「不動産情報」23.5%の順となり、ビジネスパートナーとしての期待感が伺える結果となった。
- ・規模別には中小企業と中堅企業において、「情報提供」や「ビジネスマッチング」を期待する企業が多い。



(3つまで選択)

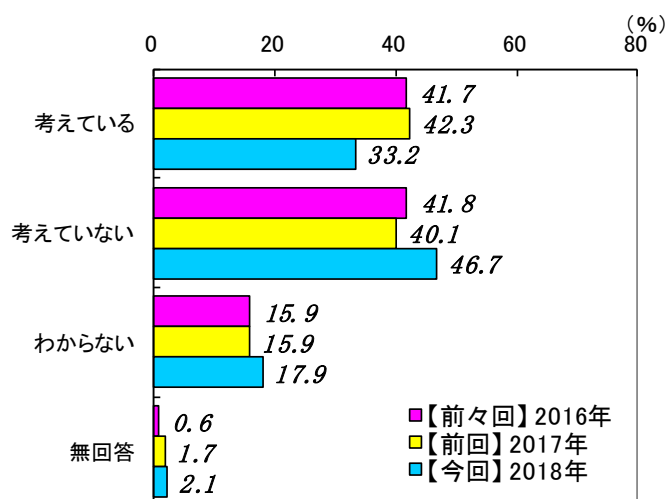
(%)

	回答企業数(社)	情報提供(地域・景気動向・助成金制度等)	ビジネスマッチング(商談会含む)	資金調達	不動産情報	人材確保(新卒・中途)	事業承継(M&A含む)	事業性評価(経営課題対応)	海外進出支援	資産運用	その他	無回答	
全産業	1,318	52.7	34.4	33.5	23.5	19.1	12.4	7.4	2.9	2.1	0.6	3.0	
規模別	小規模企業	350	45.4	20.6	36.0	41.7	11.7	9.1	6.9	1.1	2.3	0.9	3.7
	中小企業	760	54.1	39.2	32.0	17.5	20.1	13.4	7.6	2.9	2.0	0.5	2.8
	中堅企業	206	60.2	40.8	34.5	15.0	28.2	13.6	7.8	5.3	2.4	0.5	2.4
業種別	製造業	354	57.9	48.6	28.5	7.3	26.0	15.3	7.6	5.1	1.4	0.6	1.4
	非製造業	962	50.9	29.3	35.2	29.5	16.6	11.3	7.4	2.1	2.4	0.6	3.4

◆ 事業承継について

(1) 事業承継の検討について

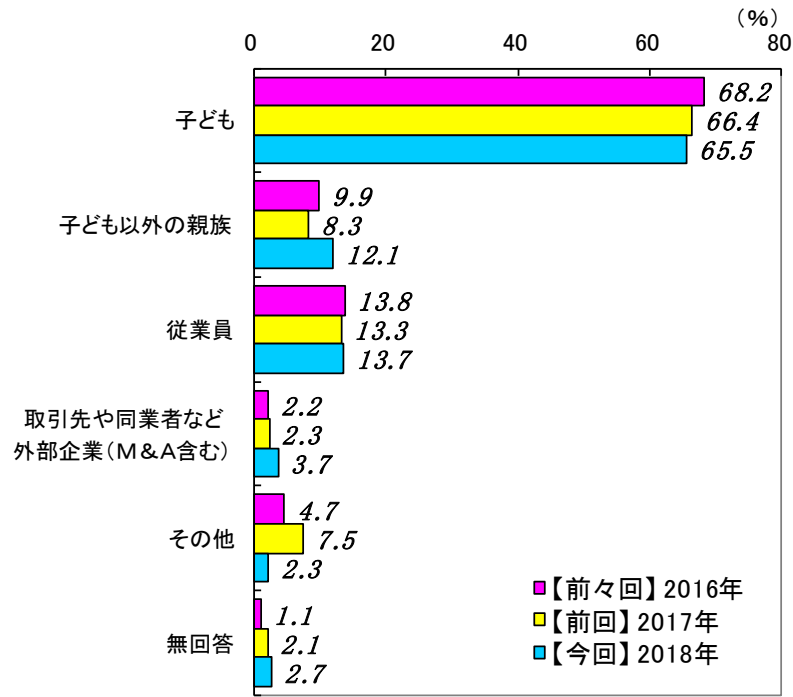
- ・ 事業承継を考えている企業は 33.2% で、1 年前の前回調査（42.3%）より 9.1 ポイント減少した。
- ・ 規模別に検討している企業を見ると、小規模企業の減少（3.9 ポイント）に比べて、中小企業（10.5 ポイント）と中堅企業（11.0 ポイント）の減少が大きい。



		回答 企業数	考えている	考えて いない	わからない	無回答	合計
全 産 業	【前々回】 2016年	(1284)	(41.7)	(41.8)	(15.9)	(0.6)	(100.0)
	【前回】 2017年	(1330)	(42.3)	(40.1)	(15.9)	(1.7)	(100.0)
	【今回】 2018年	1318	33.2	46.7	17.9	2.1	100.0
小規模企業	【前々回】 2016年	(367)	(39.5)	(43.6)	(16.6)	(0.3)	(100.0)
	【前回】 2017年	(337)	(36.8)	(44.8)	(16.3)	(2.1)	(100.0)
	【今回】 2018年	350	32.9	48.6	16.0	2.6	100.0
中小企業	【前々回】 2016年	(714)	(43.1)	(40.2)	(15.7)	(1.0)	(100.0)
	【前回】 2017年	(772)	(45.2)	(38.6)	(14.8)	(1.4)	(100.0)
	【今回】 2018年	760	34.7	45.9	17.8	1.6	100.0
中堅企業	【前々回】 2016年	(180)	(40.6)	(42.2)	(17.2)	(0.0)	(100.0)
	【前回】 2017年	(209)	(39.2)	(38.8)	(19.6)	(2.4)	(100.0)
	【今回】 2018年	206	28.2	46.6	21.8	3.4	100.0
製 造 業	【前々回】 2016年	(311)	(46.6)	(37.0)	(15.8)	(0.6)	(100.0)
	【前回】 2017年	(358)	(48.0)	(37.2)	(13.7)	(1.1)	(100.0)
	【今回】 2018年	354	34.7	43.2	20.3	1.7	100.0
非 製 造 業	【前々回】 2016年	(950)	(40.1)	(43.2)	(16.1)	(0.6)	(100.0)
	【前回】 2017年	(962)	(40.2)	(41.2)	(16.7)	(1.9)	(100.0)
	【今回】 2018年	962	32.6	48.0	17.0	2.3	100.0

(2)後継者候補

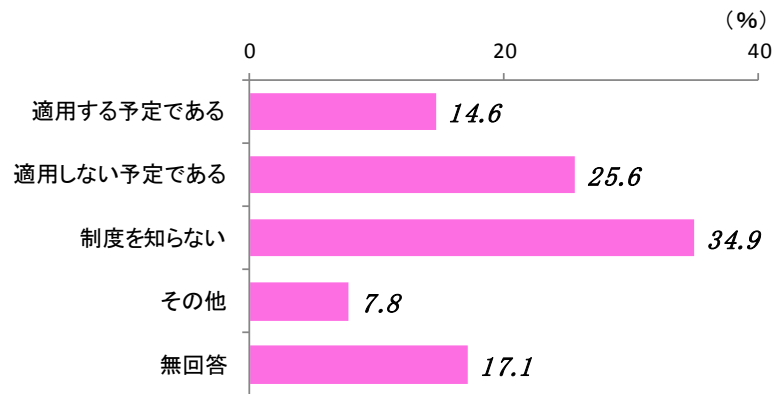
- ・後継者候補のトップは「子ども」が65.5%で、1年前の前回調査（66.4%）とほぼ同じであった。
- ・規模別に「子ども」の割合を見ると、小規模企業が73.9%と7割を超える。



「考えている」企業		該当企業 合計	子ども	子ども以外 の親族	従業員	取引先や同 業者など外 部企業(M &A含む)	その他	無回答	合計
全産業	【前々回】2016年	(535)	(68.2)	(9.9)	(13.8)	(2.2)	(4.7)	(1.1)	(100.0)
	【前回】2017年	(563)	(66.4)	(8.3)	(13.3)	(2.3)	(7.5)	(2.1)	(100.0)
	【今回】2018年	438	65.5	12.1	13.7	3.7	2.3	2.7	100.0
小規模企業	【前々回】2016年	(145)	(72.4)	(11.0)	(12.4)	(0.7)	(3.4)	(0.0)	(100.0)
	【前回】2017年	(124)	(71.8)	(8.9)	(8.9)	(0.8)	(4.8)	(4.8)	(100.0)
	【今回】2018年	115	73.9	11.3	7.8	3.5	1.7	1.7	100.0
中小企業	【前々回】2016年	(308)	(66.6)	(9.4)	(14.9)	(3.2)	(4.2)	(1.6)	(100.0)
	【前回】2017年	(349)	(63.6)	(8.6)	(15.2)	(2.9)	(8.3)	(1.4)	(100.0)
	【今回】2018年	264	62.9	9.8	16.7	4.5	3.0	3.0	100.0
中堅企業	【前々回】2016年	(73)	(65.8)	(9.6)	(13.7)	(1.4)	(8.2)	(1.4)	(100.0)
	【前回】2017年	(82)	(68.3)	(6.1)	(13.4)	(2.4)	(8.5)	(1.2)	(100.0)
	【今回】2018年	58	60.3	24.1	12.1	0.0	0.0	3.4	100.0
製造業	【前々回】2016年	(145)	(62.1)	(11.0)	(15.2)	(3.4)	(6.2)	(2.1)	(100.0)
	【前回】2017年	(172)	(65.1)	(11.0)	(11.0)	(3.5)	(7.0)	(2.3)	(100.0)
	【今回】2018年	123	62.6	13.8	13.0	4.9	1.6	4.1	100.0
非製造業	【前々回】2016年	(381)	(70.6)	(9.4)	(13.4)	(1.8)	(3.9)	(0.8)	(100.0)
	【前回】2017年	(387)	(67.2)	(7.0)	(14.5)	(1.6)	(7.8)	(2.1)	(100.0)
	【今回】2018年	314	66.9	11.1	14.0	3.2	2.5	2.2	100.0

(3) 事業承継に関する税制改正について

- ・事業承継を考えている企業に対して、2018年の税制改正の適用予定を尋ねたところ、「適用する予定である」が14.6%、「適用しない予定である」が25.6%だった。
- ・また、「制度を知らない」企業が34.9%あった。特に小規模企業は49.6%と、半数の企業で認知されていなかった。



(%)

	回答 企業数 (社)	適用する 予定である	適用しない 予定である	制度を 知らない	その他	無回答	合計	
全産業	438	14.6	25.6	34.9	7.8	17.1	100.0	
規模別	小規模企業	115	12.2	25.2	49.6	5.2	7.8	100.0
	中小企業	264	14.4	23.1	34.1	8.7	19.7	100.0
	中堅企業	58	20.7	37.9	10.3	8.6	22.4	100.0
業種別	製造業	123	18.7	19.5	33.3	6.5	22.0	100.0
	非製造業	314	12.7	28.0	35.7	8.3	15.3	100.0

IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月				2018年 4～6月				2018年 7～9月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	12.2	74.2	13.7	▲1.5	13.6	72.2	14.2	▲0.6	17.7	69.7	12.7	5.0	17.7	71.8	10.5	7.2	15.8	74.6	9.6	6.2
小規模企業	5.0	81.3	13.6	▲8.6	6.3	78.8	14.9	▲8.5	9.0	79.0	11.9	▲2.9	11.5	80.5	8.0	3.4	9.3	82.6	8.1	1.2
中小企業	13.4	72.5	14.0	▲0.6	14.8	69.4	15.8	▲1.0	20.4	66.0	13.6	6.7	18.4	69.3	12.3	6.2	16.8	72.2	11.0	5.8
中堅企業	19.1	68.9	12.0	7.2	20.5	72.0	7.5	13.0	21.2	68.7	10.1	11.1	25.4	66.8	7.8	17.6	22.9	70.1	7.0	15.9
製造業	16.3	66.2	17.5	▲1.1	21.4	61.3	17.3	4.0	22.0	64.5	13.6	8.4	21.5	65.7	12.7	8.8	22.4	67.5	10.1	12.4
小規模企業	6.9	65.5	27.6	▲20.7	7.4	66.7	25.9	▲18.5	19.0	61.9	19.0	0.0	10.5	71.1	18.4	▲7.9	10.8	73.0	16.2	▲5.4
中小企業	15.6	67.7	16.7	▲1.2	21.4	59.3	19.3	2.1	20.3	65.9	13.8	6.5	19.5	67.4	13.1	6.4	20.9	69.8	9.4	11.5
中堅企業	23.2	60.9	15.9	7.2	26.3	65.8	7.9	18.4	27.8	60.8	11.4	16.5	32.9	58.2	8.9	24.1	32.9	57.9	9.2	23.7
非製造業	10.7	77.1	12.2	▲1.5	10.6	76.5	12.9	▲2.3	16.1	71.7	12.3	3.8	16.4	74.1	9.6	6.8	13.4	77.1	9.4	4.0
小規模企業	4.9	82.8	12.3	▲7.5	6.2	79.9	13.8	8.3	80.3	11.4	▲3.1	11.6	81.7	6.8	4.8	9.1	83.8	7.1	1.9	
中小企業	12.4	74.9	12.8	▲0.4	11.6	74.5	13.8	▲2.2	20.4	66.1	13.5	6.9	18.0	70.1	11.9	6.1	15.0	73.2	11.8	3.3
中堅企業	17.1	72.9	10.0	7.1	16.9	75.8	7.3	9.7	16.8	73.9	9.2	7.6	20.6	72.2	7.1	13.5	16.8	77.6	5.6	11.2

※2018年1～3月期上、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

項目	2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月				2018年 4～6月				2018年 7～9月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	14.5	71.1	14.5	0.0	13.9	68.1	18.0	▲4.1	21.3	65.5	13.2	8.1	22.4	67.3	10.3	12.1	19.4	70.4	10.2	9.2
	阪神地域	8.6	84.6	6.8	1.8	14.3	76.4	9.3	5.0	12.9	79.0	8.2	4.7	16.0	75.4	8.6	7.4	13.8	79.1	7.2	6.6
	播磨地域	13.2	72.6	14.2	▲0.9	13.8	73.7	12.4	1.4	18.2	67.4	14.4	3.8	16.7	72.0	11.2	5.5	15.8	74.7	9.5	6.3
	但馬・丹波地域	9.4	60.4	30.2	▲20.8	20.8	52.1	27.1	▲6.3	22.0	61.0	17.1	4.9	10.0	84.0	6.0	4.0	10.0	78.0	12.0	▲2.0
	淡路地域	11.1	64.2	24.7	▲13.6	2.8	81.9	15.3	▲12.5	14.8	69.1	16.0	▲1.2	12.3	69.1	18.5	▲6.2	11.1	72.8	16.0	▲4.9
業種別	製造業	16.3	66.2	17.5	▲1.1	21.4	61.3	17.3	4.0	22.0	64.5	13.6	8.4	21.5	65.7	12.7	8.8	22.4	67.5	10.1	12.4
	建設業	18.1	73.4	8.5	9.5	15.8	77.7	6.5	9.2	25.9	68.8	5.3	20.6	24.4	71.0	4.7	19.7	21.8	71.5	6.7	15.0
	卸売業	11.9	71.5	16.6	▲4.7	8.7	73.4	17.9	▲9.2	17.4	65.3	17.4	0.0	17.2	68.9	13.9	3.3	11.6	74.4	14.0	▲2.5
	小売業	11.4	67.1	21.5	▲10.1	6.4	65.4	28.2	▲21.8	10.7	66.7	22.7	▲12.0	14.3	61.0	24.7	▲10.4	11.8	68.4	19.7	▲7.9
	不動産業	3.4	91.0	5.6	▲2.2	6.5	83.3	10.1	▲3.6	7.3	87.3	5.5	1.8	9.2	85.9	4.9	4.3	6.6	89.1	4.4	2.2
	運輸業	7.9	84.1	7.9	0.0	13.2	81.1	5.7	7.5	19.4	66.1	14.5	4.8	18.3	76.7	5.0	13.3	12.1	84.5	3.4	8.6
	宿泊・飲食業	0.0	46.2	53.8	▲53.8	0.0	80.0	20.0	▲20.0	14.3	64.3	21.4	▲7.1	0.0	83.3	16.7	▲16.7	8.3	75.0	16.7	▲8.3
	医療・福祉	7.9	89.5	2.6	5.3	12.9	80.6	6.5	6.5	8.1	86.5	5.4	2.7	14.6	83.3	2.1	12.5	14.6	79.2	6.3	8.3
	サービス業	8.0	74.3	17.7	▲9.7	12.6	75.7	11.7	1.0	14.3	73.5	12.2	2.0	15.8	76.2	7.9	7.9	15.8	77.2	6.9	8.9
	その他	14.3	80.4	5.4	8.9	14.0	74.0	12.0	2.0	19.6	60.9	19.6	0.0	14.6	68.3	17.1	▲2.4	15.0	70.0	15.0	0.0

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月				2018年 4～6月				2018年 7～9月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	24.1	59.2	16.8	7.3	26.4	58.0	15.6	10.7	29.7	56.1	14.2	15.5	29.2	57.9	12.9	16.4	26.1	64.8	9.1	17.0
経常利益判断	23.0	61.8	15.2	7.7	24.0	62.3	13.6	10.4	23.9	61.3	14.8	9.1	25.2	61.2	13.6	11.7	21.0	69.0	10.0	11.0
仕入価格判断	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.7	72.2	2.1	23.6	24.2	73.9	1.9	22.3
生産判断【製造業のみ】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.2	63.9	8.9	18.3	27.8	65.9	6.3	21.6
在庫判断	3.9	91.2	4.9	▲1.0	3.8	91.4	4.9	▲1.1	3.7	92.2	4.1	▲0.4	3.4	92.7	3.9	▲0.5	3.6	93.5	2.9	0.7
資金繰り判断	11.5	81.5	7.0	4.4	12.8	79.9	7.3	5.6	12.4	81.5	6.1	6.3	13.9	80.3	5.8	8.2	12.3	81.3	6.4	5.9
雇用判断	23.0	75.5	1.5	21.5	26.8	72.0	1.2	25.6	25.9	72.8	1.4	24.5	25.3	73.6	1.1	24.2	25.6	73.7	0.8	24.8
設備投資判断	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	87.5	4.2	4.2	9.2	87.0	3.8	5.4